じまっ

みどり 成

山資源の活用と交流

]

森と暮ら

テーマ助成みどり環境公募事業 は

環境公募事テー 7 助 これ までの体験と交流型 循

高

化が進む

中

で

け

津川 齢

地区の資源

ること、

S

11

ては

は 継 0 続し グリ 体験型メ た地域支援に 習型活動 なが ーツ リズ 仙里の 平 成 24 ハム活動 なが を一 `暮ら ,る実 歩 年 進 度

援

隊

)学校」 門の \mathcal{O} 里

交流 中 津

強化 帺

事業がは

を 5 「森と暮 で担う しの L 環型暮 の応

発行所 NPO法人 美しいやまがた 森林活動支援センター 南陽市荻978-1番地 電話: 090-7932-8059 メール:

totoro-n@jan.ne.jp

始

す を

Ŀ.

隊 開

実習

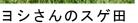
用に対して考え行 市 野する人 森林の 住民とともに、 価 [値と利活 材を育て るも 都 \mathcal{O}

仮

スゲの基本指導を受ける

まずは森林整備から

スゲ田で指導を受ける



活動が始まりま



実習が終わって

び、 難 笠 称) た技術を習得し、 ス ス 高齢化と担い手不足でスゲ を生産する中 1 ゲ細工など生業としてき ゲ栽培を手伝いながら、 ます 県内 手 の材料であるスゲ栽培も しくなってきています。 今後の支援活動に 仕事文 結成の スゲ を育成していく 化 津川 笠 基盤作りを行 0 $\overline{\mathcal{O}}$ 現 支援 地区 80 状 % 人材 を 向 は 以 学

まり ゲ が どを受けたのでした。昼は、 伊 発展させましょう。 てみませんか。 石窯でエネル ら、ピザ 藤ヨシさんを招い 田 *う*ます。 ĮΙΚ \mathcal{O} よ刈 り取り技術の講習な 現状を学ぶととも に舌鼓。 実習隊 ŋ 取り作業が 次回 を学びな 名 には、 加 始 ス

た。

地域をあげて伝統産業を